

(別紙)

鳥獣被害防止総合支援事業の評価報告(平成24年度報告)

実施主体名 赤村鳥獣害防止対策協議会

1 事業効果の発現状況

鳥獣被害防止総合支援事業を活用し、被害防止体制の整備を図った。また侵入防止柵を整備した地域ではかなりの被害防止効果が見られた。購入した箱わなにより、イノシシ及びシカの捕獲数についても大幅に増加した。

2 被害防止計画の目標達成状況

捕獲機材の導入や侵入防止柵の整備により被害防止対策を講じてきたものの、侵入防止柵の整備が遅れている地域での被害拡大により、被害防止計画の目標達成には至らなかった。

3 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率 稼働率	事業効果
赤村鳥獣害防止 対策協議会	赤村全域	平成22年度	イノシシ、シカ	・個体数調整 イノシシ捕獲用箱わなの購入	20基	赤村鳥獣害防止対 策協議会			・被害防止対策として各種捕獲機材の導入を実施した。捕獲機材の導入により円滑な捕獲体制を整備することができたため、H24年度は前年度に比べイノシシの捕獲数が約2倍に、シカは3倍以上となり効果が見られた。
	赤村全域	平成23年度	イノシシ、シカ	・個体数調整 シカ侵入防止柵設置(ワイヤーメッシュ) イノシシ捕獲用箱わな わな管理用小型発信受信システム	侵入防止柵650m 8基 2セット	赤村鳥獣害防止対 策協議会	H24.1.20		
	赤村全域	平成24年度	イノシシ、シカ	・個体数調整 捕獲安全確保に必要な立看板 鳥獣被害調査 シカ侵入防止柵設置(金網柵)	看板30枚 調査面積0.04ha 侵入防止柵1,141m	赤村鳥獣害防止対 策協議会	H25.1.29		

被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価		
被害金額(千円)			被害面積(ha)			侵入防止柵を整備した地域では被害の減少に繋がったが、イノシシ及びシカの捕獲等数が大幅に増加したにもかかわらず、被害地域の拡大により防止計画の目標は達成できなかった。 シカに関しては樹木被害が、カラスでは果樹の被害が増加しており、今後も侵入防止柵の整備と共に捕獲活動と併せた総合的な被害防止対策の強化により、被害低減に努めたい。		
目標値(A)	実績値(B)	達成率(注4)	目標値(A)	実績値(B)	達成率(注4)			
カラス	487	2,152	-749%	0.23	0.65			-500%
シカ	1,906	15,181	-1523%	3.00	8.67			-305%
イノシシ	9,284	27,023	-346%	8.28	25.92			-397%
合計	11,677	44,356	-554%	合計 11.51	35.24	-373%		

4 第三者の意見

氏名	所属名、役職等	コメント
實藤 清實	合資会社 香春火薬店 代表社員	鳥獣被害が増加する中、継続してその被害防止対策に取り組んでおられ大変評価できます。本年もハード面の強化を重点的にされると伺っています。今後も自然との共存を目指し、鳥獣被害の防止に努められ地域住民の指導啓発に取り組んでいただきたいと思います。